

大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハークスレイ(ほっかほっか亭中国各店舗)、ゼット株式会社、ミズノ株式会社、株式会社エスエスケイ、株式会社アシックス、株式会社ドーム、株式会社体育社、サントリーフーズ株式会社、松本映像研究所(マツプロ)
後 援	公益財団法人日本野球連盟中国地区連盟(JABA 広島県野球連盟) JR西日本硬式野球部、三菱重工広島硬式野球部、MSH医療専門学校硬式野球部、 広島鯉城クラブ、伯和ピクトリーズ、ツネイシブルーパイレーツ、JFE西日本硬式野球部、 福山ローズファイターズ、三原ヤッサベースボールクラブ、広島ベースボールクラブ
期 日	令和3年8月14日(土)～21日(土) 予備日:21日(日)、28日(土)
場 所	三次きんさいスタジアム、庄原さくら球場、しまなみ球場、岩国きずなスタジアム
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。(一部、大会特別規定を採用)
試 合 形 式	本戦トーナメント(東西戦:優勝2チーム)
大 会 副 賞	【大会出場権】イースタン優勝、ウエスタン優勝(2チーム) BSY勝ちグセ卒団大会の出場権獲得(オールEAST、オールWEST)
開 会 式	期:令和3年8月14日(土):8:30(開門7:00～ 受付開始:7:10～) 於:三次きんさいスタジアム
閉 会 式	期:令和3年8月21日(土):決勝戦終了後(14:00予定) 於:岩国きずなスタジアム
参 加 チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ:18チーム
抽 選 会	令和3年7月11日(日) 於:広島市東区民文化センター 大会議室
参 加 費	大会規定額を納入(期日までに中国支部の口座に振込)
試 合 球	ゼット(シニアリーグ公認球)試合ごとに4球 ※最初の一箱のみ中国支部にて一括購入
審 判 員	●～準決勝:本部審判員2名、父兄審判員2名(各チームから1名ずつ派遣) ※父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 ●決勝戦:本部審判員4名(各チームから派遣なし)
参 加 要 件	1. 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手登録証所持者(コピー不可)のみ、ベンチ入りを許可する。(但し、スコアラー1名は除く) 2. ベンチ入りできる選手は25名までとし、背番号は1～25番までとする。 3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 4. 本大会に参加する選手(指導者含む)ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスポンサー弁当(@600円)を注文すること。(但し、一部球場を除く)

競技要項（大会特別規定）

- 第1項 ベンチは若番が一塁側。**ロージンは両チーム**、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 第2項 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 第3項 本大会はブロックトーナメント戦を採用し、優勝は2チームとする。※ブロックトーナメント戦の競技詳解については別添参照
- 第4項 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回:1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。（決勝戦は除く）
- 第5項 **5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。**（決勝戦は除く）
- 第6項 **メンバー交換は前試合4回終了後**、大会本部が指定する場所にて、**監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）**を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 第7項 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 第8項 試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、**外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。**（ノックやトスバッティングは禁止）
- 第9項 次試合チームの先発**バッテリー1組に関し、メンバー表交換後**、ブルペンに入って投球練習を行うことができる。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 第10項 **ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し**、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 第11項 監督指示により、捕手がタイムを取る行為はタイムカウントとして数えないが、遅延行為と判断した場合は、1回のみ警告を行い、2回目からはタイムとしてカウントする。

その他の注意事項

- 各チームは、**会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。**
- 各チームは、**当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。**
- 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、**第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。**（審判服は支部指定）
- 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。**（4回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）**
- 試合成績表の記録者は、名札を付け**予備球を持って記録室に入室**のこと。
- 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。
- 本大会は関西連盟が指定するソーシャルディスタンスに定められた規程を遵守すること。

ブロクトーナメント戦における競技要項の詳細

卒団記念大会の競技要項詳細については、下表のとおり行う。

	準決勝まで	決勝戦
試合成立	5回完了	
正式試合	7回	
投球回数制限	あり(上限到達選手は、捕手への交代も制限)	
時間制	あり(2時間制)	
コールド	あり(4回:10点差、5回以降:7点差)	なし
延長戦	なし	
タイブレイク	あり(1アウト満塁:最大3イニング)	あり(決着がつくまで)
抽選決着	あり(タイブレイク後、同点の場合)	なし
審判	球審・二塁:大会審判部、一塁・三塁:各チーム	
禁止事項	一日4試合、一日ダブルヘッダー、ナイターゲーム ※全て原則	

上表の詳細については下記のとおり。

【一回戦～準決勝までの適用について】

試合成立ならびに正式試合

試合は7イニングまで行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。※但し、以下の場合例外とする。

1. 試合成立(5回完了)までは、2時間を超えても試合を行います。
2. 後攻チームがリードしたまま攻撃中に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

コールドゲーム

4回10点差 または 5回以降7点差。(大会中に棄権した場合は、7-0の5回コールド負けとする)

タイブレイク

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

!重要!タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります(時間制の適用外)

- タイブレイク戦**は正式試合終了後、**同点の場合は必ず適用**します。(2時間を超えていても必ず実施)

例:5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。

6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。

7回終了後、同点の場合は、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。

- タイブレイク戦**を行っている途中に**2時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- 最大3回のタイブレイク戦を戦い、**それでも同点の場合は、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。**

【決勝戦の適用について】

試合成立ならびに正式試合

一回戦～準決勝までと同ルールで行う。(5回成立、2時間制)

コールドゲーム

決勝戦については、コールドゲームを採用しない。

タイブレイク

決勝戦については、勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。

抽選決着

勝敗が決まるまでタイブレイク戦を行うため、選手による勝敗抽選は行いません。

サスペンデッドゲーム（特別継続試合）について

降雨及び日没などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

適用するケース

- 試合が成立する前(5回完了する前)に中止になった場合。
- 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。

特別継続試合のルール

- ① 中止となった元の状態から継続するため、元の試合で交代した選手は出場できない。
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ **投手の投球回数制限はそのまま生きる(リセットされない)**
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会役員にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、翌日の第一試合に割り当てられます。

注2) **試合成立後(5回終了後)に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。**

注3) 試合成立後(5回終了後)同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※**タイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、両チームの最終メンバー9名にて勝敗抽選を行う。(タイブレイクの再試合は行わない)**

注4) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることとはできない。(日没の場合も含む)